

病理がおすすめする初期臨床研修プラン

病理を志望する研修医には、1年次には内科、救急、外科などの医師としての礎となる分野をしっかりと学んでいただきたいです。これらの臨床分野に精通することは病理医となる上で必須の条件です。そして、2年次には自由選択の48週間のうち可能な限り長期間（可能ならば48週全て）を本学病理診断科において研修し、外科病理診断業務のみならず、剖検業務の補助などを経験し、専攻医として本格的に病理診断科研修を行う前に余裕をもって組織学や人体病理学の基礎を学んでいただきたいと思います。

1. 研修病院の選択

Bコース

教育型研修病院や大学病院での研修にかかわらず、病理医を目指す研修医には1年次にしっかりと臨床を学び、2年次には本学病理診断科で長期研修を行っていただきたいと思います。言い換えるならば、2年次に必ず本学病理診断科で長期研修を行っていただくため、1年次には臨床に専念して研修してください。1年次に病理を選択する必要はありません。臨床を知らずして病理医にはなれません。まずはとにかく臨床の必修研修をしっかりとやってください。

Cコース

1年次にはしっかりと臨床の必修研修を行ってください。2年次には本学病理で長期研修を行って病理医としての基礎を身につけてください。

2. 病理診断医になるために研修が望ましい診療科

病理医になるためには広く疾患を知らなければなりません。よって、1年次には必修研修をとにかくしっかりとやってください。

3. コース選択

Aコース：該当なし

Bコース：1年次に臨床の必修研修をしっかりと行い、2年次の病理診断科研修に備える（たすきかけ研修）

1 年次 协力型研修病院												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
必修 内科				必修 救急				必修 外科	必修 小兒科	必修 産婦人科	必修 精神科	
2 年次 大学病院												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
選択 病理											必修 地域医療	

Cコース：1年次に臨床の必修研修をしっかりと行い2年次の病理診断科研修に備える（大学研修）

1 年次 大学病院												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
必修 内科				必修 救急				必修 外科	必修 小兒科	必修 産婦人科	必修 精神科	
2 年次 大学病院												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
選択 病理											必修 地域医療	